



水と衛生月間

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度 ガバナーノミネー

出村 知佳子

(札幌北RC)

3月11日で東日本大震災から12年になります。津波等の甚大な被害、深刻な原子力事故の恐怖を思い出します。私達自身も地元の皆様が原発事故による汚染に不安でいっぱいの中、当該年度の佐々木パストガバナー、熊澤パストガバナー、久保田元地区代表幹事、杉江元地区代表幹事の御理解のおかげで、マッチンググラントの申請、タイ第3340地区・第3350地区の御支援を得て、福島の子育て支援施設に400個の線量計をお届けでき、ロータリー、ロータリー財団の迅速な支援に感動しました。

さて3月は「水と衛生」月間です。また3月22日は国連総会で定められた「世界水の日」です。水がとても大切であること・きれいで安全な水が使える重要性を、世界中の人々が一緒に考える日です。水問題は発展途上国地だけでなく先進国でも、人々の命、生活、経済そしてジェンダー平等を考える上で最重要事項です。きれいな水を利用できることは基本的人権ですが、世界には適切な衛生設備を利用できない人が25億人、安全な飲み水が得られない人が7億4,800万人、毎日1,400人の子供が、劣悪な環境下で命を落としています。さて、当2510地区では、2019年からグローバル補助金にて「Safe water Save the Children in Northeast Thailand by Village Cultures」の「水と衛生」の事業を実施、DDFと国際奉仕・VTT委員会と地区内24クラブの協力も得て実施、コロナ禍の中で無事完了しました。特に事業では、持続可能な衛生環境、水施設の利用、そして何よりも子供達への「WASH」衛生教育に力を入れ、完了後も持続可能な事業であることを確認しました。具体的には、地域の特性や古い伝統を生かし、リサイクル石鹸の製造・販売をするシステムにより、持続可能な浄水システムの維持し、保健所の協力を得た手洗い指導等、子供たちに国際レベルの「衛生教育」を提供しています。コロナ感染拡大の中、適切な衛生設備を使う重要性も痛感しました。これまで私たちは、タイ東北地域、カンボジア、インドネシアで約20年間に及び多くの水プロジェクトを実施しましたが、このグローバル補助金事業により、事業が持続可能に発展したことに大きな喜びを感じます。この経験から、地域の「水と衛生」問題に重要な「メコン河」の汚染問題を考え、現在「環境の保全」のグローバル補助金で「Save mother Mekong" for future generations by Community TEAM and ECO circulations」の構築に取り組んでいます。母なる「メコン河」の環境問題には隣国の多世代の理解、特に若い世代の取組みが重要です。

さて3月13日は「世界ローターアクトの日」です。2015年から実施した職業訓練事業のグローバルから今年度ローターアクトクラブが誕生、「環境保全」のTEAMの一員として活動しています。「水と衛生」、「環境保全」ともに、専門家、行政、地域社会、子供達、ロータリアン、ローターアクターが協力し、社会に変化を与え、未来を形成しています。皆様のTAKE ACTIONとロータリー財団へのファンディングに心より感謝申し上げます。